バレーボール選考会の観察シート

架空の記入例と調整可能な空欄記録を含むオリジナルの指導用資料。公式選考書式や医学的評価ではありません。

記入例：架空の選手P07

目的：現在のレセプションのコントロールと、説明への反応を観察する。最終メンバーの判断ではない。選手12人、コート1面、観察者2人。所属団体が説明した基準を使い、開始前に課題を伝える。

課題：コントロールした6球を受け、キャッチ役につなぐ。1回目は6球中2球。球は予測でき、無理なく届く。伝えたポイント：早く移動し、面をキャッチ役へ向ける。同程度の2回目は6球中4球。

観察：受ける前に合意した手の合図を使った。有用な意思疎通として記録し、声量、話し方、アイコンタクトを採点しない。少人数ゲームではレセプションが1回のみで、観察情報が不足。

次の確認：実際のサーブで別のラウンドを用意し、2人目も観察する。易しいボールの記録と混ぜない。伝える例：「説明後に次につながる接触が増えたので、次はサーブに対する早い移動を確認します」。実在選手のデータではなく架空の例。

バレーボール選考会の観察シート

空欄記録：個人情報を非公開で扱う

日付／グループ／活動の目的：_____

選手コード／観察者／2人目の観察者：_____

説明した基準と課題：_____

ボール出し／難度／役割／合意した調整：_____

1回目：機会数 ____ 観察した行動 _____

伝えた説明・ポイントを1つ：_____

2回目：機会数 ____ 観察した行動 _____

本人と合意した意思疎通：_____

異なる条件・不足している情報：_____

2人目の観察事実／確認する相違点：_____

区分：支援あり／発展中／繰り返し確認／未観察。

次の観察内容と日付：_____

非公開のフィードバック：良かった行動と練習課題 _____

判断する人／連絡時期／承認された保管先：_____

機会がなかった欄をゼロにせず、区分を足して自動順位を作らない。記録の保存期間と閲覧権限は所属団体の方針に従う。